

令和5年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第二小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- 植物や生き物についての育て方を調べる活動を通して、本やタブレットでの調べ方を身に付けることができた。
- 観察や体験を通して気付いたことや感じたこと、もっと知りたいと思ったことなどを継続的に振り返りカードに記録し、成長の様子を時系列で確かめることができた。学級全体で共有する機会を設けたことにより、児童の気付きを価値付け、次の活動への意欲に結び付けることができた。
- 学校、公園、町を探検する活動や地域の人たちとの交流を通して、身近な人たちや場所、公共物と自分との関わりに関心をもたせることができた。また、自分たちの住む地域のよさや、自分たちの生活を支えている人たちの存在に気付き、地域に愛着をもたせることができた。
- 1年生はアサガオ、2年生は野菜（ミニトマト・ピーマン・ナス）などの植物を育てる活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもたせることができた。また、継続的な活動をすることで、植物を育てることの楽しさや収穫することの喜びを実感させることができた。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
野菜や生き物を育てる活動の中で、対象について調べる活動を取り入れ、本やタブレットなどを用いた調べ方について身に付ける。 自分たちの生活する学校や地域を直接見学し、そこで生活したり働いたりしている人々と話す機会を設ける。 見学や案内に必要な技能が身に付くように練習する。	身近な人々、社会及び自然に関する活動を通して、その楽しさを十分に味わうように計画する。 観察や体験を通して気付いたことや感じたこと、もっと知りたいと思ったことなどを、相互に伝え合い、交流できる場を設定し、対象と自分について考え、様々な方法で表現する。	一人一鉢の植物を栽培したり、生き物や小動物を飼育したりする活動を通して、それらのもつ特徴や成長の様子に関心をもてるようにする。 対象との関わり方を学び、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。学校・地域の様々な場所を調べたり、利用したりする学習を通して、多くの人たちが自分の生活を支えていることに気付かせる。そのために、「もっと調べてみたい。」「もっと聞いてみたい。」という、児童の思いや願いを大切に活動を取り入れる。